

熊谷の「奴稲荷」の話

国学者の本居宣長は『古事記伝』の中で、神について「尋常ならず、すぐれたる徳のありて、可畏き物」と述べています。昔話や伝説、古くからの風習の中には、こうした神の持つ不思議な力を伝えているものや、その力にあやかろうとしたものがたくさんありますが、今回は熊谷市仲町に鎮座する伊奈利神社にまつわる話を紹介いたします。熊谷寺に隣接して鎮座するこの社は、通称を「奴稲荷」といいます。かつて地元の方からうかがった話によれば、この「奴稲荷」は昔から子育ての神として名高く、とりわけ体の弱い子どもは三年や五年といった年限を切って丈夫になるように願をかけ、その間は欠かさず月参りを行うと必ず丈夫になるといわれてきたそうです。こうすることを「稲荷様の奴（お弟子）になる」といい、奴になった子どもはその印として鬘（耳ぎわの髪の毛）を伸ばし、満願の際にはその鬘を切って奉納しました。下の絵は奴稲荷の社頭の風景を描いた錦絵ですが、絵の右側の母親に連れられた子どもの髪型を見てください。腕白そうに見えるこの子は、きっと「稲荷様の奴」なのでしょう。絵の中央の「熊谷奴稲荷神祠」と書かれた標柱の前に描かれている子どもは少しひ弱な感じに見えますが、父親に連れられて丈夫になるように祈願に来たのでしょうか。

また、この社は『新編武蔵風土記稿』の熊谷寺のところに「稲荷社 熊谷弥三左衛門稲荷と号す、境内の鎮守とす」と記されているように元来は熊谷寺の一部でしたが、明治に入ってまもなく神仏分離によって寺から離れました。神社の起こりについても熊谷寺と同様に熊谷直実と関わりが深く、「熊谷直実は日ごろ稲荷神への信仰が篤かったが、直実が戦場で危ない目に遭うと必ず熊谷弥三左衛門という武士が現れて助けてくれた。これを不思議に思った直実が弥三左衛門に尋ねたところ、弥三左衛門は『常に汝が信ずるところの稲荷明神なり。危難を救わんがために熊谷弥三左衛門と現じける』と言って姿を消した。その靈威を感じた直実が祠を熊谷寺の境内に設けて祀ったのがこの社の始まりである」といった話が伝わっています。ちなみに、この話は既に江戸時代からよく知られていたものらしく『木曾路名所図会』の中にも記されています。

ところで、熊谷寺といえば大正5年にまだ盛岡高等農林学校の学生であった宮沢賢治が訪れ、「熊谷の蓮生坊がたてし碑の旅はるばると泪あふれぬ」といった短歌を詠んだことでも知られています。もしかしたら宮沢賢治も散策の途中で、この「奴稲荷」を訪れていたのかもしれないね。

（常設展示担当 大明 敦）



なかせんどうくまがやしゆくゆうこくじこそだてやっこいなりしゃのす
中仙道熊谷宿熊谷寺子育て奴稲荷社之図 豊国（三代）画

秩父札所巡礼道の道しるべ

皆さんは旅先で目的地を探すときどのようにされていますか。車であれば「カーナビを使う」、徒歩のときは「携帯電話で地図を見る」「ガイドブックを見る」でしょうか。人に聞くことも多いですね。

今ではいつでもどこへでも出かけることができますが、中世以前は、ごく一部の貴族・武士・商人・僧侶・芸人などを除き、多くの庶民は旅とは無縁でした。

その後、交通環境が整い旅の安全性が高まり生活も向上してくると弥次喜多道中の『東海道中膝栗毛』でなじみの深い「お伊勢参り」に代表されるように旅を楽しむようになりました。庶民は、居住地を離れることが規制されていましたが、神社仏閣への参拝であれば参拝は口実で物見遊山の旅であっても、容易に通行手形を受けることができたのです。

元禄3（1690）年から2年間日本に滞在したドイツ人医師ケンペルが記した「江戸参府旅行日記」で道路の充実ぶりと旅人の多さを指摘されるほど日本人は昔から旅好きだったようです。

江戸在住の人々にとって、特に女性にはめんどろな箱根や栗橋などの関所越えがなく、全行程約100km、7日ほどで巡ることのできる秩父札所巡礼は、大山阿夫利神社（神奈川県伊勢原市）や成田山新勝寺（千葉県成田市）とともに格好の参詣（旅行）先でした。

秩父札所巡礼についてはこれまでに多くの解説書が発行されていますが、埼玉県教育委員会では、

平成4年に「歴史の道調査報告書 秩父巡礼道」を刊行し、当館でも平成9年に特別展「歴史を歩く 埼玉の札所めぐり」を開催しました。

秩父札所巡礼は、第32番法性寺に残る『長享番付』の記述から、長享2年（1488）には既に完成していましたが、16世紀中ごろに、江戸一川越一安戸（東秩父村）を通る道筋が主要ルートになり、また、坂東札所巡礼の途中（第9番札所慈光寺 ときがわ町）に秩父札所を組み入れやすいよう順番を変更すると共に、1か寺増やして西国・坂東札所と合わせて百観音霊場とするなどの札所側の努力もあって人気が高まりました。

秩父札所の巡礼道沿いには現在約130の道標が残っていますが、その中で特に目立つ道標があります。江戸時代中ごろの元禄15（1702）年から18（1705）年にかけて、「心求・はま・（こきん）」が願主となり建立した45基ほど確認されている道標で、その多くには願主のほかに建立のために費用を用立てた施主の居住地・屋号・名前が刻まれているものです。施主の多くは江戸の商人で、寛延3（1750）年には3月1日からの20日間に2万6千人以上の巡礼者が訪れるほどのにぎわいで、道標設置の要望も高かったのでしょうか。

風化や破損がはじまっている道標も見受けられるのは残念ですが、300年経った現在でもその役割を果たしている心求・はま等が建立した道標に敬意を表し、江戸時代にここを歩いた多くの巡礼者たちを思いながら、巡礼道を歩いてみてはいかがでしょうか。（学習支援担当 宮 昌之）



「心求・はま」の道標、欠け始めている（26番道）



迷っては大変、左が崖の巡礼道（右25番左29番道標）

THE A MUSEUM



歴史と民俗の博物館イベント情報（7月～9月）



埼玉県の
マスコット
コバトン

- 企画展「ヒーロー参上」を、7月17日(土)～8月31日(火)まで開催いたします。
- トピック展「新収集品展」を8月29日(日)まで開催しています。

7月

- | | |
|--|--|
| 3日(土) 博物館裏方探検隊 | 20日(金) 博物館夏まつり
「ヒーロー紙芝居」
「ヒーローファッションショー」 |
| 9日(金) 特別体験メニュー「藍の型染めハンカチ作り」 | 21日(土) 博物館夏まつり「飴細工実演」
民俗芸能講習会「秩父屋台囃子」
博物館裏方探検隊 |
| 10日(土) ミュージアムトーク
博物館裏方探検隊 | 22日(日) 企画展展示解説
博物館夏まつり「射的」 |
| 11日(日) 民俗工芸実演「渋田扇」
ミュージアムトーク | 26日(木) 夏休み子ども伝統工芸体験
「押絵羽子板作り」 |
| 17日(土) 企画展「ヒーロー参上」オープン
民俗芸能講習会「秩父屋台囃子」
博物館裏方探検隊 | 28日(土) 博物館裏方探検隊
民俗芸能講習会「秩父屋台囃子」 |
| 18日(日) 企画展展示解説 | 29日(日) 特別体験「お囃子体験教室」
企画展展示解説 |
| 24日(土) 民俗芸能講習会「秩父屋台囃子」
博物館裏方探検隊 | 31日(火) 企画展「ヒーロー参上」最終日 |
| 25日(日) 企画展展示解説 | |
| 28日(水)・30日(金)
夏休み子ども伝統工芸体験
「張り子人形作り」 | |
| 31日(土) 民俗芸能講習会「秩父屋台囃子」
博物館裏方探検隊 | |

8月

- 7日(土) 民俗芸能講習会「秩父屋台囃子」
博物館裏方探検隊
- 8日(日) 企画展展示解説
- 10日(火)～12日(木) 企画展記念映画会
- 14日(土) 博物館裏方探検隊

9月

- 4日(土) 博物館裏方探検隊
- 11日(土) ミュージアムトーク
博物館裏方探検隊
- 12日(日) ミュージアムトーク
- 15日(水) 博物館資料特別鑑賞会
- 17日(金) 特別体験メニュー「絞り藍染めストール作り」
- 18日(土) 博物館裏方探検隊
- 25日(土) 博物館裏方探検隊

予告：特別展「仏教伝来 埼玉の古代寺院」10月9日(土)～11月14日(日)開催



埼玉県立 歴史と民俗の博物館 (編集発行)

〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町4丁目219番地
TEL. 048-641-0890 (管理)
048-645-8171 (学芸)
FAX. 048-640-1964
<http://www.saitama-rekimin.spec.ed.jp/>



埼玉県立歴史と民俗の博物館だより
Vol.5-1 (通巻) 第13号
2010年7月7日発行